

薩摩郷句鑑賞 163

薩摩狂句暦 三條風雲児著 から

六月灯女房ん浴衣も久振い

林 夢太郎

七月に入ると、県下各地の神社や寺では、六月灯が催されるが、六月灯と言えば、吊るされた灯籠の下を、浴衣に下駄ばき、腰に団扇などさした人々がゆききする姿が目につく。

そして、綿菓子やスルメを焼く匂いまでが、ただよってくるような懐かしさがある。

急ぎたてるような花火の音に、子供たちを連れて出かけたであろう。ほほえましい。

土用鰻ぎ酌も浴衣ん女房がしつ

津 曲 とっこ

今日は土用の丑の日、うなぎにとつては、最大の厄日である。鰻屋では、てんてこまいするほど忙しい一日になることだろう。

ところでこの句、奥さんがうなぎを焼き、晩酌の用意をして待っていたのである。もちろんうなぎの効き目もあることだろうけれども、ひよつとすると、風呂上がりの肌に薄化粧した、浴衣姿のあで

やかさの方が、もつと効いたのかも知れない。

薩摩郷句誌洪柿八二七号雑吟から

鹿児島 長谷 俊風

飲ん出せば何の寄合かも忘れつ

(唱) 酔くろたぎいな天下泰平

西 幸子

マスク無し笑顔ん稽古じゃち世は平和

(唱) 鏡む見ながら愛想笑れもしつ

大 崎 遠矢 耐多

大谷いイチロ松井ん名も霞ん

(唱) 人気ん桁が違ご二刀流

柳村 遊月

気は重びがヨイショち行つた親友の通夜

(唱) 切ねこつじやが気合を入れつ

伊地知 孝

勝つ筈じゃ無印鑑も通帳も婆が握つ

(唱) 俺い教せん暗証番号

古川 芽々

見えんでち来たで検査も見えん言つ

(唱) 婆い叱られた検査んナース

西田 郷花

安しか品金の程じゃち身い沁みつ
(唱) 洗濯くしたや縮んだパンツ

二見 愚楽満

句が出来た紙ぬ持つ来ち風呂ん中

井上 三ちゃん

先き九九を妹ち言われつ泣っかぶつ

江口 紫朗

髭剃いな念ぬ入れ出たマスク無し

郷句募集

◎9号

題吟「直き(たつちき)」

締切 令和5年8月4日(金)

◎10号

題吟「気温(はだもつ)」

締切 令和5年9月4日(月)

◇選者 樋口 一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあててくださいます。

◇応募先 千八九二一〇八四六

鹿児島市加治屋町三番一〇号

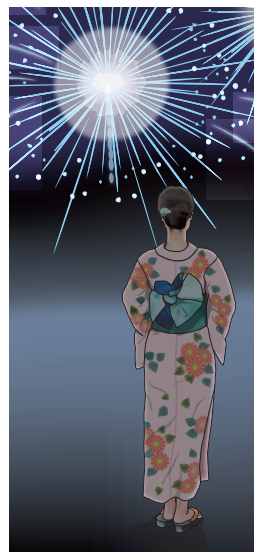
鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係

TEL 〇九九一二六―三七三七

FAX 〇九九一二五―六〇九九

E-mail: ihou@city.kagoshimamed.or.jp

鹿市医郷壇



524

樋口 一風 選

兼題「浴衣」(ゆかた)

天

爺ん浴衣縁台ん囲碁い気合や入っ

清滝支部 鮫島爺児医

(唱) 腕まくゆしちや終な肩脱っ

(評) 昔はクーラーなどという文明の利器はまだありません。夕食が済むと路地に縁台を出して、将棋や囲碁が始まるのも夏の風物詩でした。

囲碁や将棋を打つ人と見物の人が、それぞれの味方になっての熱戦です。「気合や入っ」で、爺さんが浴衣の袖をたくし上げて頑張っている様子が分かります。

縁台に浴衣と団扇と蚊取り線香が浮か

んできます。

地

上町支部 吉野なでしこ

夏祭い浴衣姿で盛り上げ

(唱) 団扇片手い娘御も青年も

(評) 兼題が「浴衣」だったので、浴衣が主語になる句を『地』に頂きました。鹿兒島の夏祭りは、六月灯に始まり、お祇園祭、町内の夏祭りと続きます。六月灯や夜祭りなどの情緒を醸し出すのは、娘たちの浴衣姿でしょう。

最近浴衣を着る機会が無いので、浴衣は買っても、下駄を持っていなくて、仕方なくスニーカーという子供もいます。

何はともあれ夏の祭りには浴衣です。

人

紫南支部 二軒茶屋電停

六月灯浴衣ん美人に目が泳っ

(唱) 沢山居つで嬉し目の養生

(評) 六月灯と浴衣は切っても切れない夏の風物詩です。どういう訳か女性が浴衣を着ると、色っぽく見えるのは私だけではないようです。

この句の人も、浴衣の美人の虜になったようで、困っているようです。行合う浴衣美人を目が追い掛けています。

「目が泳」と面白い表現をしてあり

ます。

五客一席

伊敷支部 谷山五郎猫

背広をば浴衣で着替えつ六月灯

(唱) 子を肩車で灯籠どん覗つ

五客二席

清滝支部 鮫島爺児医

暑き晩も浴衣一枚で涼しゆなっ

(唱) 糊ゆば効かせつ良か風通し

五客三席

伊敷支部 谷山五郎猫

転婆娘も浴衣を着ればお嬢様

(唱) 裾が纏付つで優しゆ歩つ

五客四席

上町支部 吉野なでしこ

転婆娘も浴衣い帯で優しゆし

(唱) 性根あやっぱい大和なでしこ

五客五席

清滝支部 鮫島爺児医

婆さんも派手な浴衣で少す色気

(唱) 連立ん歩けば二度見をされつ

秀逸

清滝支部 鮫島爺児医

浴衣着つ縁台でビール良か晩な

浴衣着た娘い色気が見え隠れ

日本の夏の情緒い合た浴衣

茶髪よか黒髪が似合浴衣美人

伊敷支部 谷山五郎猫